

おかあさん
の
たんじょうひ

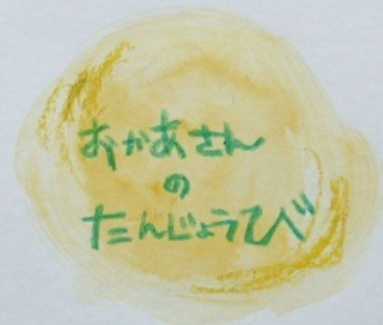
きいこ かとう ゆりこ
あけみ ちるし



おかあさん
の
たんじょうび

きいこ かとう ゆりこ
あさき ゐづき





さくえ かとうやり二
あちきひと

「ねえよんぞ」

きょうもごうかのこんたは

おかあさんに えほんをよんでもらいたくて

おねだりしています。



二人は
おかあさんの
よんでくいる
おはなしが
だいすきです。



「それなあ、きこね いろいろい
うきにいる おさかなの おはなし
よ」

おがあさんは、おおきな おい
えをとりだした。

二人は、もう
おあそび
です。





おかあさんが えほんを
よみおけるときには
こんたは
ぐすり ぐすりなが
となりでは

おとうさんも おあまなみくちを、あけて
いびきをかいて ねています。
こんたは いつも こうして
ねかして もらうのです。



おふろからあがった おとうさんかい
人かにもっといえる ことをしなはれして
ようすを みに ねてきました。



「おとうさん、ほくうまく
おがきさんのえが
かけないんだいよ。」



「よし、おとうさんもてっだ、やる！」

おとうさんはおみきなで
たのしそうにえを
かきはじめました。
「いいか、えってのは
うまいとかへたとかか
たれせつ
じやないんだ。



たれせつなのは、
きもちもこめることなんだ。
おとうさんのえをみたら、
こんなよりせぐしや
です。
でもこんなは、
おとうさんのえをみて
じぶんももっと
えをかいてみたく
とおもいましたの



かりかりかり...
おかあさん だいすき。

ささささ...

おかあさん のつを
ありがとう。



ひとつひとつに
きもちを こめて ついに
こんたの えほんが できました。

おかあさんは こんたが
へたからでてくるのを
ずっとまていました。

こんたは、おおきなうそを
いいました。



おかあさん、

おたんじょうびおめでとう

ねるまえに おかあさんは こんたのがいた
えほんを
みらしました。



けんじ、げんきいっはいの こんたのえともじは
おかあさんではなかなかよめません。

「きょうは1まぐかおかあさんのかわりに
よんであげるわ。」

「おかあさん
だいすき。」

「おかあさん
いつも
ありがとう。」

こんたのおたまのうえから
なみだがいひとしずく おちました。



こんなかえほんをよみおわるころには...あかれ?
きょうはおかあさんがぐっすり...ゆめのなか。



すやすやねむるおかあさんに
こなたは、おとうさんとこえをあわせていました。
「おかあさん、おたんじょうびおめでとう!」





おかあさんの
たんじょうひ

さいえ かとう くりこ
おぐさ んろじ

